

ふるさと小野町会 ふれあい通信

六〇歳を前にして

矢野 孝 則(本町出身)



子が一年を感じる感覚を基準にすると二十歳の人はその二〇分の一にしか感じられないそうです。とすると今の私の一年は、裁判所に勤め始めた(昭和四〇年)ころと比べれば、約三倍の速さの感覚で時が進んでいることになりました。

当時の事務処理状況は、まだ手書きカリア版印刷の時代で、複写機も湿式のものでした。書証原本がローラーに巻き込まれ液剤に浸り破れないようにと、こわこわと神経を使って使用したことを思い出します。今は一人に一台とパソコンが配布され、手書きの公用文書などは希にしか見かけません。効率性、利便性を求め、事務処理機器はどんどん進化し、飛び交う情報も昭和四〇年代当時とは比べべくも無く、制度が一つ変わるといふことになりますと周知の必要上、大量に文書も配布されます。

いま、司法の分野は、司法制度改革の終章にあります。裁判所の関連では、すべての裁判の一番を二年以内に終えることを目指す「裁判迅速化法」簡易裁判で争う訴訟額の上限を九〇万円から一四〇万円に引き上げる「簡易裁判所の事務管轄の拡大」、今まで地方裁判所で行っていた夫婦や親子に関する人事の訴訟を、家庭裁判所で行つこ

ととする「人事訴訟の家庭裁判所への移管」などについて、多くの法律や規則が制定されました。そして、より利用し易い裁判所へと、それぞれの部署において職員が努めているところと

そして、五月二十一日に司法制度改革の柱である裁判官法が成立しました。解決しなければならぬ課題は多々ありますが、新制度は五年後にスタートします。

裁判官の負担を減らすため、裁判期間を大幅に短くしなければなりません。連日開廷できる態勢を整える必要もあります。現在は、被告人や証人の述べたことは、供述調書として書式化されていますが、新制度下では裁判官が被告人や証人の発言を法廷で聞きながら心証が作られるような裁判にしなければならぬと思います。そして、評議の時にはパソコンなどで、証言箇所を臨場感を持って再現することができるようになることも必要でしょう。

変革のスピードは、従来になく速いです。このような状況は何も裁判所だけではなく、効率を求める社会全体がそつであり私達の暮らし全般が加速され、一日一日が瞬く間に過ぎて行く感じですが、便利さを求める前のめりの社会文化は、これからも変わることはないでしょう。

しかし、個人としての豊かさ幸せを考えると、少し違和感も覚えます。真の幸せは、子供のころ野山を駆け回ったときの感動の中にこそ、あるような気がします。

そんな感傷から思いますが、これからの時間、今の感覚の三分の一遅さの感覚で流れてほしいと願うものです。不便なことも待つことも厭わぬように、些細な変化に一寸した四季の変化にも気づき感動しようとする自分に言い聞かせたりしています。

定年後の仕事を見つめ、趣味の範囲も広げ、中断していた夫婦での山歩きもまた始めようかと、矢大臣山、高柴山などを懐かしく思っているところと

しかしながら、怠け者の思い沢山で「イコノ人生は暮苦楽三味」と囲碁に耽るのではな

こんにちは! バトリシアです



リンジー先生の小戸神小学校でのサマースクール

リンジー先生とジャスミン先生が小学生に英語を教えるために小野町に来てから、約2ヶ月がたちました。そろそろ、2人ともアメリカに帰るころです。帰ると、リンジー先生は、大学4年生になって勉強を続けると思います。ジャスミン先生は、ニューヨーク市の中学校で国語(英語)を教えます。短い間でしたが、小野町のみなさんはこの元気な2人の先生と会って、話す機会があったでしょうか。

夏休み期間中には、リンジー先生もジャスミン先生も小学校の教室を借りて、英語サマースクールというプログラムを行って、ゲームや歌などをとおして小学生に英語を教えました。それぞれの学校に行ったのは3日間しかありませ

んでしたが、先生たちも生徒たちも一生懸命やりましたので、貴重な経験になったと思います。私は、その英語を習っている小学生と会うと、子供たちが上手にそして元気に会話をしているので、とてもうれしいです。私は、子供たちがそんなに速く言葉を覚えることが本当にうらやましいです。

私は、小野町がリンジー先生とジャスミン先生を招いて英語サマースクールを行ったことは素晴らしいことだと思います。このようなプログラムは国際理解を進め、英語の学習をサポートし、小野町とグレンロックの絆を強くさせると 생각합니다。私は小野町において、実際に英語サマースクールを手伝うことができたことは、とてもうれしいです。

It has been almost two months since Lindsay and Jasmin have come to Onomachi to teach English to elementary school students in town. Soon they will return to America, where Lindsay will be a senior in college and Jasmin will continue teaching in New York City. I hope that everyone in Ono had an opportunity to meet and speak with these two energetic women.

During summer vacation, Lindsay and Jasmine used classrooms in elementary schools all over Onomachi to teach English Summer School. Lindsay and Jasmine were only at each school for about three days, but both the teachers and the students worked very hard, and I think they had a meaningful experience. Every time that I meet the elementary school students who are learning English, I am very happy to see how well they can remember English words and how energetically they speak the language. I envy how quickly the young students can learn a language.

I think that it is wonderful that Onomachi invited Lindsay and Jasmin to Ono and held the English Summer School. By doing so, I think the town has promoted international understanding, supported English learning and strengthened its ties with Glen Rock in America. I am very happy to have been in Onomachi to help with and to the program.